

「特産種苗」バックナンバー

当協会のホームページに、PDF版を掲載しています。
「特産種苗 情報誌」で検索してください。

号	発行年月	特 集 内 容
1	2009年1月	創刊号、雑豆（小豆、菜豆、その他）
2	2009年4月	雑穀（アワ、ヒエ、キビ、その他）
3	2009年7月	ハトムギ
4	2009年9月	雑穀類の生産状況（平成17～20年産）
5	2009年10月	油糧作物（ナタネ、ヒマワリ、ゴマ、オリーブ）
6	2010年1月	甘しょ
7	2010年4月	ばれいしょ
8	2010年8月	アマランサス・キノア
9	2010年11月	雑穀類の生産状況（平成17～21年産）
10	2011年3月	ソバ
11	2011年8月	6次産業化
12	2011年11月	甘味資源作物
13	2012年2月	雑穀類の生産状況（平成18～22年産）
14	2012年10月	品種の収集・保存・配布
15	2013年1月	雑穀類の生産状況（平成19～23年産）
16	2013年9月	薬用植物
17	2014年1月	雑穀類の生産状況（平成20～24年産）
18	2014年9月	雑穀・豆類の機械化
19	2015年1月	雑穀類の生産状況（平成21～25年産）
20	2015年4月	とうがらし・わさび



編集後記

本号では「地域特産作物」を特集し、地域特産作物として、地域に特化して生産されるなど地域性が強いこんにゃくいも、い、ハーブ、紅花及び藍を取り上げました。

これらの地域特産作物は、かつては国内で有数の生産量を誇っていましたが、近年は海外からの安価な輸入品や化学製品におされ生産は減少しています。

このような中で、近年、紅花、藍のように天然染色・自然染料として国産原料の良さが見直されているもの、いぐさのように芳香によるリラックス効果などから再び国産畳表の需要の高まりが見られるもの、こんにゃくいものように自家加工に

より付加価値を高めて販売しているもの、ハーブのように町おこしにつなげているものなど、再び脚光を浴びる作物がでてきています。

本稿では、これら地域特産作物の見直しや復活に向けた取り組み等について、関係機関、大学、産地、団体の方からご紹介いただきました。

お忙しい中、ご寄稿下さいましたご執筆者の方々に心より御礼申し上げます。

今回ご紹介いただきました取り組みが、地域の特産作物としての評価をさらに高められ、地域特産作物の復活や地域の更なる振興・発展につながることを期待いたします。

（佐々木記）

発行日 平成27年11月1日
発 行 公益財団法人 日本特産農作物種苗協会
〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目4番1号
白亜ビル 3階
T E L 03-3586-0761
F A X 03-3586-5366
U R L <http://www.tokusanshubyo.or.jp>
印 刷 (株) 丸井工文社